

21世紀をたくましく生き抜こうとする、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成

めざす学校像

一人一人の学びを保障し、楽しく学べる学校  
好ましい人格形成をめざす学校  
教職員が意欲と誇りを持って勤務できる学校  
地域とともにある「開かれた学校」

めざす子ども像

☆自ら考え 進んで行動できる子ども☆

よく考え 工夫できる子ども（知）  
あいさつができる子ども（徳）  
やさしく思いやりのある子ども（徳）  
あきらめずにやり切る子ども（徳）  
健康でたくましい子ども（体）

めざす教師像

教育的愛情を注ぐ教師  
専門性を身につけ、探求心と向上心にあふれる教師  
高い倫理観と危機管理意識を持つ教師  
質の高い教育実践のために工夫改善できる教師

市教委との連携      ～第5次計画「茨木っ子プラン ネクスト 5.0」（一人も見捨てへん教育）の推進～  
家庭・地域との連携      社会に開かれた教育課程・情報発信      PTA との連携      子ども安全見守り隊  
      青少年健全育成運動協議会      校区自主防災会  
保幼小中の連携      双方向の情報交流・スタートカリキュラム

非認知能力の育成（茨木っ子力）  
学校運営協議会      放課後子ども教室

(A) 研究部

学力保障部会

学び力

テーマ：「豊かな言語力を育むための授業づくり」  
教科を広げ、RS を意識した授業づくりをめざし、確かな言語力を獲得する

取組み：全教科において読解力を育成し、言語力を高めることで、児童同士の交流を深め、学力及び非認知能力を育む。  
・リーディングスキル・MIM  
・ならっこ学習タイム（朝）  
・ならっこタイム（給食時）作文発表  
・計算チャレンジ  
・一斉読書  
☆研究授業による教師の授業力向上  
☆まめちっち研修

人権教育部会

つながり力

テーマ：人権感覚を高め、一人ひとりを大切にする集団の育成をめざして

取組み：たがいに認め合い、自分らしく生きる力をはぐくむジェンダー平等教育」

- ・豊かな人権感覚を育む
- ・自尊感情や自己肯定感を育成
- ・一人ひとりが大切にされる集団づくり
- ・人権尊重の教育、保幼小中連携教育、キャリア教育の推進

支援教育部会

ゆめ力・自分力

テーマ：ユニバーサルデザイン教育の視点を入れた「わかる」「できる」授業の実践

取組み：支援の視点をすべての子どもに～特別でない支援教育～

- ・各学年の取り組み
- ・保幼小一人ひとりの発達や特性を理解して指導と支援を進める。
- ・すべての子どもが、学びたい、学びやすい、安心できる学校づくりを進める。

生命を尊重し、自他を大切に思う      豊かな人間性を育む

（児童）思考力・判断力・表現力を高める  
（教師）授業研究・授業の質を高める

学校運営委員会  
企画調整      連携  
PDCA サイクルの活用

(B) 指導部

生活指導特別活動部会

安心安全教育

テーマ：自分で考え、行動できる子どもを育てる。  
◇児童の安全を確保し、規律ある学校生活を送るために、すべての学校生活場面で指導する。  
取組み：①いじめの未然防止・積極的認知・早期発見・早期対応をチームで行う。  
②不登校児童・虐待への支援の充実  
③SC、SSW 等関係機関との連携  
④いじめアンケート（年3回）  
⑤児童の実態に応じたケース会議  
◇月目標を立て、過ごしやすい学校生活をめざす。

命を守り、育てる  
いじめは「どの学校でも、どの子にも起こりうる」  
子どもの SOS を見逃さない安心安全な学校づくり

体育保健安全部会

元気力向上・命の教育

方針：①校内の体育的行事の企画を行い、教職員の共通理解を図り、スムーズな運営に努める。  
②体育の授業の系統化を行い、児童の体力向上に努める。  
③児童が学校生活を安心安全に過ごせるよう努める。  
④緊急時の円滑な避難対応ができるように努める。  
⑤食生活について児童が関心を深め、感謝し自分の食生活を改善していけるよう努める。  
取組み：スポーツテスト・体力テスト  
茨木っ子運動の活用  
ならっこ体育カリキュラム  
安全点検・学校保健教育  
防災教育・減災教育  
食の安全指導・給食週間・エコ週間

健康・体力を増進  
子どもを守るシステムの構築

視聴覚情報部会

ネットリテラシー教育

テーマ：児童が情報を収集し、整理し、活用する能力を育てる。また、相手を意識した情報発信や伝達ができる能力を育てる。  
取組み：①情報機器活用能力の育成と情報活用能力の育成（操作スキル・発信・交流・思考の深化）に関するカリキュラム作成  
②プログラミング的思考に関するカリキュラム作成  
活用能力の育成  
③情報モラル教育に関するカリキュラム作成  
④情報機器及び ICT 機器取り扱いに関する研修及び保守点検  
⑤各行事・委員会への協力

ICT を活用する力  
情報情報発信能力を育成

☆校内研究・研修の充実を図る  
☆家庭学習習慣の推進